

平成30年度行政評価 施策評価シート （平成29年度実績）

施策名 新たな文化創造・文化活動の推進

施策コード

020303

1. 施策の担当

主管課

市長公室 政策推進課

関係課

2. 総合計画における位置づけ

総合計画

政策

第2章 歴史・文化を大切にし、ひとを豊かに育むまちづくり（教育・文化）

節

第3節 歴史・文化

施策

新たな文化創造・文化活動の推進

基本方針

- ・あらゆる世代の人が、文化に触れ合う機会づくりができるよう、市民参加型事業をはじめ、多様な文化振興事業の充実を図ります。
- ・文化会館の管理運営は、最小の経費で最大の効果が発揮できるように努めるとともに、使用料のあり方等について検討し、利用者の増加に努めます。
- ・利用者ニーズに合った施設の改修整備等を効率的及び計画的に行い、施設の利用環境を整備するとともに、利用者の利便性の向上を図ります。

現況と課題

- ・文化会館は、特色のある市民参加型事業や新たな人材を発掘する事業等が積極的に展開されており、自主事業の収支比率も近隣施設と比較すると良好です。
- ・また社会の多様化に伴い、心豊かな生活が求められる中で、地域文化の振興を図るためには、あらゆる世代が気軽に施設を利用できる仕組みが必要になっています。
- ・文化会館は、開館して21年を経過しており、市民が安全で安心して利用できる施設を維持していくためには、施設の改修が必要となっています。

施策目標

対象（誰を、何を、どこを）

市民

意図（どのような状態にしたいのか）

歴史文化に加え、閑空をあわせもつ泉佐野市文化を発信し、都市イメージ・魅力の向上を図ります。空港、りんくうタウン、文化会館を文化拠点として、活用・連携を推進します。

3. 市民ニーズ

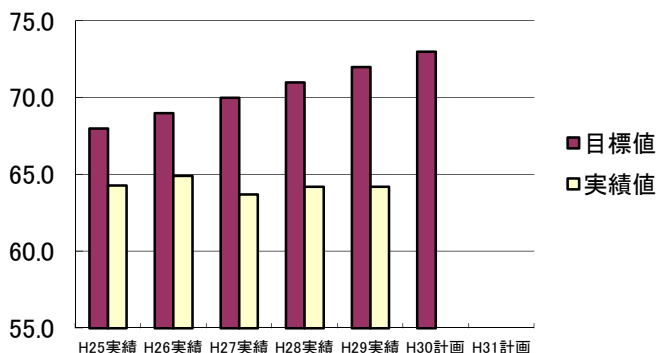
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度（偏差値）	50.9						
重要度（偏差値）	40.5						

4. 施策にかかるコスト

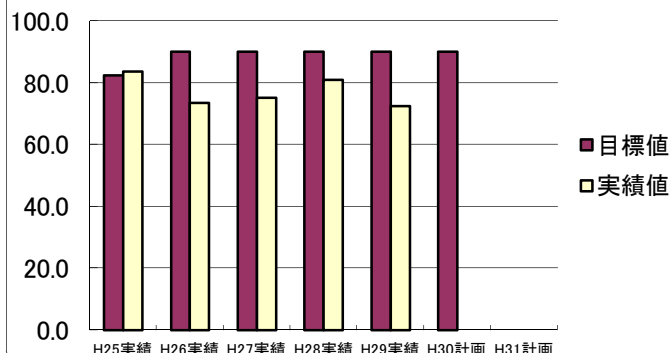
	単位	H28決算	H29決算					
コストの内訳	人件費	千円	4,277	4,113				
	事業費		960,099	967,222				
	フルコスト		964,376	971,335				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		1,411	1,411				
	一般財源1（＝フルコストー特定財源）		962,965	969,924				
	一般財源2（＝直接事業費ー特定財源）		958,688	965,811				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		文化会館の貸館利用率					
項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画
目標値	68.0	69.0	70.0	71.0	72.0	73.0	
実績値	64.3	64.9	63.7	64.2	64.2		
達成度	94.56	94.06	91.0	90.42	89.17		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市民の文化拠点施設である文化会館の貸館利用率を把握することにより、市民の文化活動が向上しているかどうかの目安となる。		年間1%の伸びを目標とする。		平成29年度の貸館利用率は64.2%であり、前年度から増減なしとなった。施設別にみると、マルチスペース（85.2%→95.0%、9.8ポイント）、大ホール（31.7%→37.4%、5.7ポイント）、練習室（大）（80.5%→85.0%、4.5ポイント）などは対前年度利用率が上昇した。一方で、ギャラリー（44.2%→36.2%、△8.0ポイント）、大会議室（84.1%→79.5%、△4.6ポイント）などは対前年度利用率が低下した。			
② 成果指標 2		文化会館の利用に関する満足度					
項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画
目標値	82.5	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
実績値	83.7	73.5	75.2	81.0	72.5		
達成度	101.45	81.67	83.56	90.0	80.56		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
文化会館の利用に関する満足度の向上により、施設全般のハード・ソフト面において利用者が満足されていることがわかる。また、今後の施設改善をしていくための検討材料となる。		平成21年実績で文化会館の利用に関する満足度78.8%となり、単年度達成率が123.12%となったため、平成22年度より目標値の設定をより高いレベルで見直し。さらに、平成26年度から毎年度90%を目標設定とし、貸館利用者の満足向上を目指す。		貸館利用者満足度について、満足と答えた方は72.5%となり、対前年比で8.5ポイント低下し、目標の90%には達しなかった。（やや満足26.4%、やや不満・不満1.1%）やや満足～満足と感じてもらうよう努力していきたい。また、スタッフの言葉づかいの満足度は90.0%、応接態度の満足度は90.0%、説明方法の満足度は87.5%と、いずれも上昇した。			
③ 成果指標 3		文化会館の自主事業に対する満足度					
項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画	H31計画
目標値	63.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績値	59.8	97.2	95.6	97.5	96.4		
達成度	94.92	97.2	95.6	97.5	96.4		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
自主事業の満足度を把握することにより、文化振興事業における市民ニーズ等の動向が把握できるとともに今後の事業手法の検討材料にもなります。		自主事業に対する満足度については、大変良い・良い・普通・良くないの区分で把握。平成25年度までは大変良いの区分を実績値としていたが、平成26年度からは大変良いに加え良いの区分も実績値とし、毎年度100%を目標値とする。		アンケート調査の結果、引き続き多様なジャンルでの舞台芸術作品を提供すること及び芸術性にこだわらず広く市民に親しまれる企画を提供してほしいという意見が多く見受けられた。また、チケット料金や施設利用料金に関し民間より低廉な料金を設定を求める意見も多かった。			

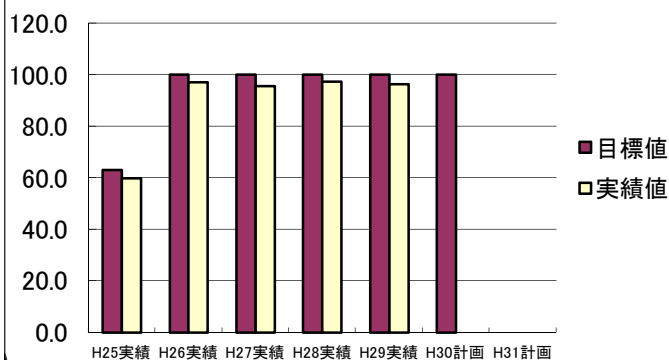
成果指標①



成果指標②



成果指標③



6. 施策の事後評価

	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 2	文化振興事業の自主事業総収支比率は61.8% (全国平均52.2%、府内平均56.5%) となった。余剰金を活用により、各階共用部カーペットの張り替えを実施し、利用者が快適に過ごせるように努めた。平成29年4月に稼働率の低い施設 (特別会議室・和室・茶室) の料金引き下げを実施した。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	館内3箇所にアンケート回収箱を設置し、その結果を貸館利用の改善に活用。また自主事業のアンケート調査については市民ニーズの把握に努め、事業選択の材料として活用している。平成21年度より友の会意見交換会を開催し、会員の生の声を把握することに努め、友の会事業の充実に役立てている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	平成22年度より5年間財団法人泉佐野市文化振興財団が指定管理者となる。公益法人改革の中で、平成23年4月1日より一般財団法人へ移行。市の財政健全化計画とも整合性をとる。平成28年度より5年間、一般財団法人泉佐野市文化振興財団が指定管理者となる。
	合計点	(10点中) 6点	
	総合評価	C	施設利用率の実績は、昨年度比増減なしの64.2%となった。また、利用に関する満足度 (「満足」と回答) が72.5%と昨年度から8.5ポイント低下した。自主事業に対する満足度 (「大変良い」「良い」) は96.4%と昨年同様高い割合となった。引き続き、満足度の向上に努めていく必要がある。昨年同様、収支は単年度黒字となったため、精算による市への指定管理料の戻入があった。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		C	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		C	引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業

事務事業			H29年度決算額			H30年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01005450	文化会館等管理運営事業	4,113	967,222	965,811	0	B
合計			4,113	967,222	965,811	0	